

◎2007年日印交流年について

2005年4月に小泉総理(当時)がインドを訪れた際、マンモハン・シン首相との間で「日印文化協定締結50周年」を記念して、2007年を「日印交流年」とし、「インドにおける日本祭」、「日本におけるインド祭」を実施することに合意しました。この合意を受けて、両国が協力して文化・学術・観光等様々な分野での交流を実施します。

◎デザイン

[タージ・マハル]

(タージ・マハル/ラクダとタージ・マハル)

ムガル帝国王妃の白亜の霊廟で、1983年に世界文化遺産に登録されました。大理石に宝石等が散りばめられた美しい建物で、イスラム建築の至宝とも言われています。

[ベンガルトラ]

インドを中心にアジア各国に生息しており、トラの中では2番目に大きい種類です。密猟や森林伐採などにより生存が脅かされており、1992年現在、世界に約3,400頭と言われています。

[インドクジャク]

インドの国鳥で、毒虫等を食するため益鳥として尊ばれています。邪気を払う象徴として孔雀明王の名で仏教の信仰対象にも取り入れられています。

[サーンチャーの仏教建造物群]

(サーンチャー仏教遺跡/サーンチャー仏教遺跡の女神像)
1989年に世界文化遺産に登録された、インドに残る最古の仏塔です。

[インド細密画]

(インド細密画)
18世紀にインドのラージャスタン州で発達した細密画です。

[インド更紗]

(インド更紗)
粗密のある木綿の生地に、媒染模様染というインド更紗特有の技法で模様が染め表されたものです。

[民族舞踊]

(民族舞踊バーラット・ナティウム)
インドの代表的な舞踊のひとつです。

[古典舞踊劇]

(古典舞踊劇カタカリ)
インドの四大古典舞踊のひとつで、世界三大化粧劇のひとつとも言われています。「カタ」は物語、「カリ」は舞踊を表します。

◎2007年日印交流年 特殊通信日付印

使用局:

- (A) 定例局
(B) 札幌、仙台、横浜、東京、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡の各中央郵便局

使用日:

- (A) 平成19年5月23日(水)~5月29日(火)
(B) 平成19年5月23日(水)のみ



(A) 手押し用



(B) 記念押印機用

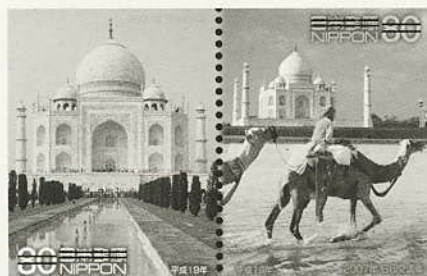
2007年日印交流年

JAPAN-INDIA FRIENDSHIP YEAR 2007



発行日:平成19年5月23日(水)

<http://www.kitte-design.net/>



[1] [2]

2007年日印交流年

JAPAN-INDIA FRIENDSHIP YEAR 2007



[5] [6]



[3] [4]



[7] [8]



[9] [10]

種類:

80円郵便切手 ※1シート10枚/1枚から販売します。

意匠:

- [1] タージ・マハル [2] ラクダとタージ・マハル [3] ベンガルトラ [4] インドクジャク
[5] サーンチャー仏教遺跡 [6] サーンチャー仏教遺跡の女神像 [7] インド細密画
[8] インド更紗 [9] 民族舞踊「バーラット・ナティウム」 [10] 古典舞踊劇「カタカリ」

発行日:

平成19(2007)年5月23日(水)

版式刷色:

オフセット6色

印面寸法:

縦35.6mm×横28.0mm

小切れ寸法:

縦38.5mm×横28.0mm

シート寸法:

縦222.5mm×横93.5mm

デザイン:

森田 基治(切手デザイナー)